

啄木のふるさと

『もりおかの短歌』

平成二十年度

冬の部 優秀賞発表

優秀賞 十首

「啄木のふるさと」『もりおかの短歌』は、啄木が生れ育った盛岡を訪れる観光客や市民による啄木短歌の特徴である『三行書き』の短歌づくりを通じて『短歌のまち もりおか』を推進することを目的に実施している事業です。

年間を四つの期間（夏の部・秋の部・冬の部・春の部）に分け募集。

平成20年12月から本年2月との3ヶ月間、募集した冬の部にも、夏の部・秋の部同様、観光客や市民の方々から多くの短歌が投稿され、この度優秀賞10首が選定されました。

投稿箱は、当所や盛岡市役所、啄木関連の観光施設、市内ホテルなどに設置しており、現在は春の部を募集しておりますので、啄木になった気分で行書きの短歌に一度挑戦してみてくださいいかがですか。

がつしりと石に根を張り

冬を越す

石割り桜に力賜はる

岩手県奥州市 岩淵 正力

駅におり

岩手の山をおおぎ見る

われを待った母の気がして

宮城県仙台市 笠原 直子

盛岡のまつりに乙女神楽舞う

男のしぐさ

踊りに冴える

岩手県雫石町 佐々木正躬

草の根と人の技とが

脈を打つ

南部しぼりの紫の艶

千葉県市川市 福田かほこ

啄木の道を詠みゆく

碑は

カルタの如き縁のありたり

東京都江東区 藤村 清彦

つなぐ手の

指輪のサイズ知りたくて

ゆつくり歩く雪あかりの街

岩手県盛岡市 梅津 利之

蠟燭の火に照らされて

石垣も雪も今宵は

温かに見ゆ

岩手県盛岡市 中島 久光

温暖化

この街にまで押し寄せる

氷の薄い高松の池

岩手県盛岡市 吉田 晃生

うす日さす

啄木歌碑をめぐりつゝ

若き男女がたのしげに手話す

岩手県盛岡市 花坂 品子

盛岡の

夜を二つに分かちたる

夫婦の意気地スコツチの乱

宮城県仙台市 阿部 堅市

平成二十一年三月選 冬の部

投稿数 九十六首

選者 山本 玲子氏



市内ホテル等に設置されている投稿ボックス